

集約シート(記載例)

対象児 高崎 太郎

開催日 2016年12月9日(金) 開催場所: 高崎市立〇〇小学校 開催時間: 16:00 ~ 17:00 主催者: 相談支援事業所「〇〇」 担当: 片岡 太郎

会議出席者: 保護者、片岡(相談支援事業所〇〇)、八千代(〇〇小・担任)、田町(〇〇小・教頭)、高松(放課後等デイサービス△△)、小島(こども発達・心理士)

本人・家族の現状	10月の運動会後から学校へ行きたがらなくなった。A医療機関を受診しASD(自閉スペクトラム症)の診断がされた。こども発達支援センターを紹介されて相談し、発達検査を実施。また、ペアトレを実施中。
健康面(診断)	A医療機関でASDの診断。投薬治療は検討中。体重が減少している。「疲れ」については精密検査を実施中。強迫性(手洗い)については、心理士による行動療法を検討中。
心理・情緒面	「疲れた」と言うことが多い。自分の手を血が出るまで洗う。昼夜逆転していて、朝の4時ごろ眠っている。テレビゲームを興奮して大きな声を出しながらしていることが多い。食事は、素うどんのみ。(給食は牛乳とパンなら食べる)
環境面	母(会社員)、母方祖母(在宅)、本児の3人家族。6畳の自室があり、自宅にいるときにはほとんどを一人で過ごす。漫画や服などが散乱している。カーテンは締め切ったまま。祖母が話しかけると、怒り出すことが多い。
その他	室外犬(ポチ)を飼っており、時おりえさやりに行くことがある。
本人・家族の長期目標(願い)	学校に通えるようになって欲しい
本人・家族の短期目標(願い)	本児が学べる環境を整えたい

各機関での目標と現状	相談支援事業所「〇〇」		高崎市立〇〇小学校		放課後デイサービス「△△」		こども発達支援センター	
	長期目標	本児のニーズに沿った支援を計画する	長期目標	クラスでの学習に復帰する	長期目標	自分の得意を生かして自信を高くする	長期目標	本児が生活しやすい環境を整える
	短期目標	各所属での取り組みを把握し、集約する	短期目標	保健室登校(給食まで)を継続する	短期目標	体験学習をとおして、自分の得意をみつける	短期目標	保護者が本児の発達特性を把握し、特性に合わせたかかわり方を学ぶ
現状	こども発達支援センターより紹介。保護者および本児と面談し、サービス利用計画を立案した。よりニーズに沿った計画を作成するため、各所属先との支援会議を計画した。	現状	運動会後に登校を渋るようになったため、保護者および本児と相談して保健室登校を認めた。2時間目から登校し保健室で1時間ほど過ごし帰宅している。学習は、担任が学年相当のプリントを配布しているが、全て取り組むことは出来ない。宿題として持ち帰っている。通級指導教室の利用、情緒支援学級の利用を検討中。	現状	大勢での活動は苦手で、部屋の隅へ行きたがる様子があり、個別指導を中心に取り組む。知識は豊富で、虫に関することはすらすら説明できる。秋の虫を探して写真に取り、手作り図鑑を作って発表する活動を計画中。	現状	登校しづりからA医療機関を受診し、ASDの診断がされる。本児の発達特性についてアセスメントし、発達検査を実施。相談支援事業所「〇〇」、放課後デイ△△紹介。保護者へのペアトレ実施。	

全体課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本児への支援について: こども発達支援センターでの発達検査の結果を各機関で共有できると良い。(保護者の承諾が必要)。放課後等デイサービス△△での取り組みを、学校でも発表できると本児の自信回復につながるのではないかと。学校での学習課題を軽減し、本児の得意を生かしたものを取り入れることができないか。 ・保護者への支援について: こども発達支援センターでのペアトレを継続してもらい、学校の就学支援(特別支援学級、通級指導教室)について、保護者と本児自身のニーズを丁寧に聞いていくことが大切ではないか。祖母と本児の関係修復をすることはできないか。 ・その他: 本児の健康状態について、医師との連携を取れると良い。
------	--

●全体課題を受けて、支援方針と各所属先、本人および家族の目標設定と役割

各 機 関 で の 目 標 と 役 割	相談支援事業所「〇〇」		高崎市立〇〇小学校		放課後等デイサービス △△		こども発達支援センター	
	長期目標	本児のニーズに沿った支援を計画する	長期目標	本児の実態にあった学習環境を整える	長期目標	自分の得意を生かして自信をはぐくむ	長期目標	保護者が本児の発達特性を把握し、特性に合わせたかかわり方を学ぶ
	短期目標	3ヶ月毎に支援会議を実施し、計画の確認および修正を行う	短期目標	保健室登校(給食まで)を継続する	短期目標	体験学習をとおして、自分の得意をみつける	短期目標	保護者にペアトレを実施する
	すべきこと: 3ヶ月毎に保護者及び本児との面談と関係機関との支援会議を実施する。ニーズ等に変化が生じれば、計画の修正を適宜行う		すべきこと: 2時間目から登校して保健室で1時間ほど過ごしてから帰宅するペースを尊重する。学習課題だけではなく、本児の興味関心にあわせた課題を設定する。放課後デイでの課題を取り入れることも検討する。保護者と本児の学習環境(特別支援学級、通級指導教室等)について話し合う		すべきこと: 秋の虫図鑑の完成を目指す。発表内容について、本児と話し合いながらセリフなどを決める。学校と連携し(訪問、電話連絡など)、発表の機会を学校でも作れないか検討していく。		すべきこと: 発達検査の結果を保護者了解のもと関係機関と共有する。保護者へのペアトレを継続し、かかわり方を指導する	

本人・家族の役割

本人がすべきこと	家族がすべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ・2時間目の登校に間に合うように、今のペースを守る。できそうであれば、ゲームを早くやめて眠るようにする。 ・放課後デイで作っている秋の虫図鑑を完成させる。 ・室外犬(ポチ)のえさやりをする。できなければ、祖母に「できない」と伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送れるようにする。(あいさつをかわす。夕食は家族3人でとるようにする。3人で取り組めるゲームをする(トランプ、ジェンガ等)) ・こども発達支援センターで実施中のペアトレを継続する。(母、できれば祖母も) ・学校と本児の学習環境(特別支援学級、通級指導教室等)について話し合う。(母) ・室外犬(ポチ)のえさの用意をする(祖母)。本児が「できない」と言った時には、祖母が行う。 ・本児の医療受診を継続させる。相談支援事業所「〇〇」の担当者と母から、主治医に対して次回支援会議への出席をお願いする。

次回開催予定日と主催者	<p>次回開催日: 2017年2月9日(木)16:00~17:00 主催: 相談支援事業所〇〇 場所: 高崎市立〇〇小学校 会議室</p> <p>出席者: 保護者、A医療機関(本児の主治医)、片岡(相談支援事業所〇〇)、八千代(〇〇小・担任)、田町(〇〇小・教頭)、高松(放課後等デイサービス△△)、小島(こども発達・心理士)</p> <p>※利用状況などによっては、特別支援学級担任、通級指導教室の担当なども検討する。</p> <p>回りの内容: 保護者および各機関での取り組み内容について報告。 本児の主治医より、本児の「疲れ」「手洗い行為」についての状態と経過および治療方針について共有し、かかわる上での留意事項などを確認する。</p>
-------------	---